

「一店逸品運動」のさらなる高度化を目指す

石神井公園駅周辺の開発事業に伴う

商店街離れの打開策として始めた

「一店逸品運動」。

昨年で4回目を迎えた

飲食店やサービス業が増加
物販店は減少の一途

石神井公園商店街振興組合は、西武池袋線石神井公園駅の南口一帯に位置する。前身の石神井公園商光会から数えて65年、振興組合に改組してからも35年という歴史ある商店街だ。かつては駅周辺の商店が中心だったが、現在は駅南口から南西へ最初の信号機がある交差点まで続く「駅前通り」、そこから石神井公園方面へ下っていく「公園通り」、駅前通りからさらに西に伸びる「銀座通り」、交差点から北西に向かう「庁舎通り」の、4つの通り沿いまで拡張。加盟店も毎年増え続け、

現在は200店を超えた。空き店舗はほぼ見当たらず、シャッター街とは無縁の商店街だが、近年は物販店の減少が顕著である。駅に近ければ近いほど飲食店やチェーン店が多く、整骨院や美容院などサービス業の新規出店も目立つ。逆に極端に少なくなったのが生鮮食品店で、路面店の魚屋、八百屋、肉屋は商店街内にそれぞれ一軒ずつしかない。また、2年前に駅ナカにイトーヨーカドーがオープンした余波で、撤退を余儀なくされた総菜店やテイクアウトの寿司店などもあった。夕飯時になると、おかずの良いい匂いとともにたくさんのお客で賑わっていた、昔ながらの風景は目に見えなくなりつつある。

毎年恒例のイベントだけでは
売り上げに結びつかない

イトーヨーカドーの出店により、石神井公園商店街の集客数は以前の1〜2割ほど減少している。さらに平成29年中には、1〜3階までがテナントで、上層階には単身者向けのワンルームマンションが入る新たな大型商業施設も完成する予定である。駅周辺の商業吸引力の低下が、ますます懸念される。ところが、組合員たちの間にそうした危機感を強く持っている者は少ない。個々の店舗においては、現時点ではまだ差し迫った状況にはないのかもしれないが、商店街として考えれば、すぐにでも手を打ち始めるべきである。15年前から理事を務める若手リーダーの赤井健吾氏は、そう思っていた。

お中元と歳末の大売り出しや新春の餅つき大会、夏の灯笼流しの夕べなどの年間イベントは毎回盛況ではあるが、なかなか売り上げには結びついていない現状も、赤井氏を危惧させていた。

売上に結びつける活動として
「一店逸品運動」を導入

赤井氏は平成23年度に初めて商店街活性化策の一つである「一店逸品運動」を知った。当時は練馬区の商店街活性化支援事業を利用してフリーマーケットを始めたりしていたが、他にももっと良い取り組みはないかと模索していたところだった。

石神井公園商店街の役員は赤井氏をはじめ若手が多いとあって、やるようになったら行動は早い。早速商店街パワーアップ作戦を利用して専門家の指導のもとに研究会が始まった。

一店逸品運動では、開催前に各参加



一店逸品運動ののぼり



赤井さんのお店の逸品は「かしわの水炊き」

平成24年度にスタートした「石神井公園商店逸品」は、昨年12月に第4回が開催された。参加店舗数は毎年7〜

**組合員たちの意識に
確実に変化が現れた**

店舗が自分で考えた逸品を持ち寄って、何度か集まり、みんなで話し合いをしながらブラッシュアップしていくことが決まりとなっている。ルールとして、商品そのものや商品名、キャッチコピーなどへのダメ出しはNG。「それだったら、こういう商品もあるよ」、「この部分をこうしてみたらどう?」といった提案スタイルが進められる。他の店に口を出す機会など普段はないこともあり、毎回非常に活気あふれる意義深い研究会となっている。

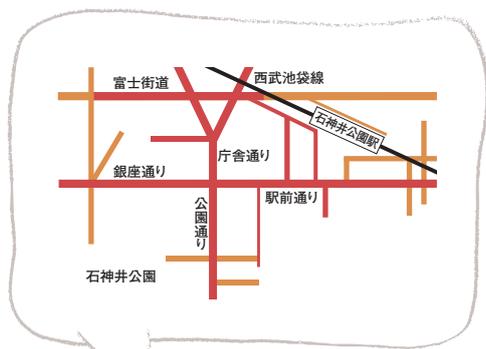
**参加15店舗以上、
第10回開催を目指して**

8店と物足りなさは拭えないものの、赤井氏はやって良かったと感じている。逸品のアイデアを練りにねって参加した店と、それでもない店とでは、売り上げの差が如実に出てきているという。自分が売りたい物を売るのでなく、売れる物を売るのが商売の基本であるが、一店逸品運動では「こんな商品が売れるんだ!」といった新しい発見や喜びを得ることができ。そうした意識の変化が個店の、ひいては商店街の魅力を高めることにつながっていくのである。

過去4回を通しての課題は、参加店舗を今後いかにして増やしていくかということ。来年度の目標は前回の約2倍、最低でも15店舗はほしいところである。赤井氏は、組合員が参加に二の足を踏んでしまうことの理由の一つに、事前の研究会があるのではないかと考えている。何度も足を運ばなければならぬことを負担に感じる人もいるだろう。その解決策として、研究会に出席できない人がいた場合は、赤井氏がその店に立ち寄って逸品を受け取り、代わりにプレゼンするという形でフォローすることを検討している。第4回まで継続できたので、このような努力をしてこの先も第10回を目指して続けていくつもりだ。



石神井公園商店街 街並み



理事長 八方清文



理事長になって3年になります。従前から石神井公園駅前には補助232号線という都市計画道路が計画されています。これをもとに駅南口西地区再開発計画が持ち上がっており、現在、地域住民・商店街が街づくりをどう考えるかが大きな問題となっています。一店逸品運動は個店の力をつけるだけでなく、お客様とのコミュニケーションを通じて、商店街の活性化につながっています。今後も、できる限り仲間を増やして頑張っていきたいと思います。

- 商店街名 石神井公園商店街振興組合
- 会員数 約 200
- URL <http://www.shakujii.net/>
- 活用施策 商店街パワーアップ作戦